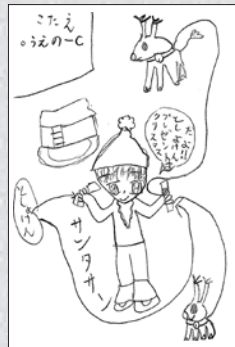




イラストは
たてに描いてね



野口 莉那 さん



まつくぼさえ さん



坂本みゆう さん

このコーナーでは、皆さんからの便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。
《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

▼サッカーの試合時、ハーフタイム中の写真。
(写真 左奥から2番目)



先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

ボールは友だち



滝尾小学校 立山 英之 教諭
(荒尾市出身・36歳)

小学校3年生のころ、マンガのキャプテン翼が大好きでサッカー部に入部しました。3年生の私からすると、6年生は体も大きく、まったくかなわないのですが、あこがれながら努力を続けることができました。すると、中学校に入学したころ、小学生の時に憧れていた先輩が荒尾高校から全国大会に出場したのです。残念ながら一回戦で負けてしまいました。が、荒尾からでも全国が狙えることを教えてくれました。それからは、全国を目指して朝、昼、放課後と毎日サッカーばかりしていました。最後の中学生連では、県大会3位という成績で終わることができました。サッカーは、私に諦めないことと、努力を続けることの大切さを教えてくれました。そして、あの頃の先生やコーチ、仲間たちとの思い出は今でも私の宝物です。

まちへのラブレター



Photo / 恐竜博物館前のティラノサウルス (正月バージョン)

明けましておめでとうございます。
今年も町へのラブレターを
お待ちしております。

(広報担当)

文芸

ひとひねり

短歌

留守電の消去ボタンはまだ押さぬ幼の声をまた聞くために

市川 結子

眠りたる嬰兒次々抱かれゆく神があやすか時に微笑み

甲斐レイ子

「老朽化」の言葉は哀し トンネルの天井板も吾が足腰も

金森 英子

天日湯を五右衛門風呂にたつぷりと湯気たちのぼる温泉気分

北村ヤヨイ

学生に交じりて夜の学食に啜るコーヒー紙のコップに

西梅 孝子

女の孫の名は未羽ちゃんと申します未来へ羽搏く夢を託して

平野 文子

一人去りまた一人去るこの里も紅葉色づき日毎に映ゆる

藤本 京子

俳句

御船春菊句会 大坪路子選

一本の雨にしづかに冬ざくら

赤星 和子

この道が好き茶の花が好きだから

黒田 順子

もぐりては浮きては鴨の羽光る

緒方 宣子

束の間の皇帝ダリア霜の朝

緒方 栞

それぞれに同じ色なき柿落葉

坂田志美子

わが庭の一本だけの紅葉かな

渡辺 澄江

日溜りに人憩はせて鴨浮寝

渡辺ケイ子

肥後狂句

天狗会

夜の夜中 待つとる身にもなつてみれ

増永 笑和

年賀状 幸福かいと問うて見る

平野 千鶴

ふとぶとと 孫の書き初めたたみまで

鳥井 蘭

無二の友 チョット秘密ももった仲

江藤 お竜

年賀状 余白に心込めて書く

吉田 楽園

見比べて 試着さすとは派手か方

河地 ゆき

何から何まで 姉さん妻は手の届く

林田 実花

一般投稿

孫の手に重ねし我が手いつの間に大波小波年輪きざみ

内村 孝子

靖国の宮居に入ればなつかしも

松岡 文江

兄の御霊の在ると思へば

岩本 順子

久々に里の畦道佇めば在りし日の父の後姿が

先哲の労苦を偲び田の穂波豊作願いて朝露に立つ

松原 敏雄

時間にはいつも遅れずくるけれど今日はおくれて残念むねん

村上千ミエ

手をそえて若きカップル集いくる花火あがれば笑顔もはえる

餅崎 武久